

## 機能成分の含量を規格

マヌカヘルス・NZ

スッデス博士、ポール氏

マヌカヘルス・NZ社  
の研究開発部長メンディ  
・スッデス博士と最高経  
営責任者ケリー・ポール  
氏は、

機能性食品を消費者に届  
けることを重視している

「ナチュラル製品と機能性食品のための知的財産の創出」をテーマに、自社製品の開発戦略を語った。最近、多くの国々が製品の健康効果や栄養機能表示が確固とした科学的根拠に裏付けされているように、規制を導入してきた。マヌカヘルス社は、製品の特性を数値で規格した利用しやすい高品質のヘルスケア製品や

ため、そうした動きを歓迎している。

当社のヒット商品には、有効成分メチルグリオキサール(MGO)の含量を規格した既存の「MGOマヌカハニー」と最近発売を開始した「サイクロパワー配合MGOマヌカハニー」などがある。この製品はシクロデキストリンを配合することによって有効成分の安定化を図るとともに、バイオアベイラビリティの向上という効果ももたらした。当社は今後もニュージーランドの動物由来のバイオアクティブリティ(生物活性)の把握に向けた多大な資源を投資していく。当社は、キャラハン・インベリションをはじめ主要研究機関のトップレベルの研究者や神戸大学医学部の寺尾教授など、大学と共同で研究開発に取り組んでいる。ニュージーランドのプロポリスはバイオフラボノイドとカフェ酸フェネチルエステル(CAPE)の含量が高く、抗酸化、抗菌、抗がん、抗ウイルス、抗炎症などの作用があると考えられている。こうしたことから、様々な疾患や症状を治療する伝統薬として販売されている。当社は有効成分を数値化したプロポリスを提供するとともに、サイクロパワー含有プロポリスでも知的財産の確保により市場優先権を持つて世界展開を図っていく考えである。今後もヘルスクリームに対応した研究を強化していく。